

Ver _____

オフセット・クレジット(J-VÉR)制度に基づく
温室効果ガス吸収プロジェクト
モニタリング報告書
【参考様式】

プロジェクト名	
プロジェクト 代表事業者名	印

提出日 _____ 年 月 日

検証機関受理日 _____ 年 月 日

最終版提出日 _____ 年 月 日

A:参加者情報			
プロジェクト代表事業者			
事業者名(フリガナ)			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクト事業者 ※1			
事業者名(フリガナ)			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
その他プロジェクト参加者 ※2,3			
事業者名(フリガナ)			
住所			
代表者氏名		担当者氏名	
担当者所属		担当者役職	
担当者 E-mail		担当者電話番号	
プロジェクトでの役割			
オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 ※4			
事業者名(フリガナ)			
オフセット・クレジット (J-VER)口座番号 ※5			

※1:プロジェクト事業者とは、当該プロジェクトの実施に携わる者のうち、実際に温室効果ガス排出削減・吸収活動を実施する者を指す。代表者と同一の場合は、その旨を記載すること。

※2:その他プロジェクト参加者とは、プロジェクト代表事業者・プロジェクト事業者以外に当該プロジェクトの実施に携わるすべての者を指す。たとえば、下記が参加者として想定される。

- ・ 温室効果ガス排出削減・吸収活動のとりまとめを行う者

※3:プロジェクト参加者が複数いる場合には、それぞれの参加者の役割及び関係の概要を説明した資料を添付すること。

※4:オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者は、プロジェクト参加者(代表者、プロジェクト事業者、その他)のうちのいずれかであること。

※5:オフセット・クレジット(J-VER)口座番号は、口座未取得の場合は記入不要。

B:プロジェクト活動の概要				
B.1 プロジェクト活動	項目			
	B.1.1 プロジェクトの概要			
B.1 プロジェクト活動	B.1.2 プロジェクトの進捗状況 (プロジェクトの進捗(間伐、主伐、植林等の施業の状況)について記述。特に申請書や森林施業計画と実施状況の間に乖離がある場合は、いつからどのような変更があり、その変更によるプロジェクトの吸収・排出量へどのような影響があるか(もしくはないこと)について記述。)			
	B.2 プロジェクト実施場所概要			
B.3 モニタリング対象地	概要 (プロジェクト対象地の位置図、プロジェクト対象地全体の地図等を用いて、プロジェクト実施場所について分かりやすく説明する。その他、巻末に記載する資料を適宜添付する。)			
	小班数 (施業した小班数を記入)	吸収量 〇〇tCO ₂	面積 〇〇ha	備考
B.4 モニタリング対象期間	本申請によるJ-VER発行対象期間	200X年X月X日～20XX年X月X日		
B.5 その他	(間伐方プロジェクトにおいてプロジェクトに参加していない森林所有者の永続性や申請時点で予見できなかったリスク等について変更等あれば記述すること)			

C:方法論の適用			
C.1 ポジティブリストの番号	No. R. ____		
C.2 適用方法論	方法論番号	JRAM _____	
	方法論名称		
C.3 方法論でモニタリングを要求されるパラメータ概要	記号	内容	計測方法
	Area _{Forest}	間伐面積	コンパス測量に基づく実測
	地位級	対象森林の土地条件等の階層	バーテックスを用いた実測
	〇〇	〇〇の文献値	「京都議定書 3 条 3 及び 4 の下での LULUCF 活動の補足情報に関する報告書」の〇〇を使用

D:モニタリングの実施状況

D.1 各パラメータの計測

D.1.1 面積の計測

モニタリングポイント No.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリング パターン)	測定方法の詳細	測定頻 度	測定機器 の確認	計測値 [単位]	対応する原始記録
モニタリングポイントの 番号 (間伐等の森林施業を 実施したサイトの通し 番号)を記入	モニタリングポイン トの番号に対応す る小班名を記入 (同一小班名は識 別可能な方法で記 述)	方法論に記 載されている パラメータを 記入	パラメータ の説明	測定方法・デー タ把握方法を記 入 (モニタリング方 法ガイドラインに あるパターンか ら選択)	事業者自ら実測を行 う場合、具体的な測 定方法を記入 (記入された測定方 法により、第三者が 同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記 入のこと)	測定頻 度を記入	モニタリング方 法ガイドラインを 参照し、測定機 器のキャリブレ ーションを行っ たかチェックし、 チェックした日付 を記入	吸収量の算 定に使用した 値を記入 (ha)	面積の根拠となった データに関して記録
1	〇〇小班 XX	Area _{Forest}	間伐面積	実測情報に基 づく方法	間伐が実施された 小班ごとに、コンパ ス(具体的な名称、モ デル等を記述)を用 いて計測	モニタ リング 時に1回	2009/10/31 実施	XX. Xha	資料 XX 〇〇小班 XX 間伐面積測量結 果

D.1.2 地位の特定

モニタリングポイント No.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリング パターン)	測定方法の詳細	測定頻 度	測定機器 の確認	計測値	対応する原始記録
モニタリングポイントの 番号 (間伐等の森林施業を 実施したサイトの通し 番号)を記入	モニタリングポイン トの番号に対応す る小班名を記入 (同一小班名は識 別可能な方法で記 述)	方法論に 記載されて いるパラメ ータを記入	パラメータ の説明	測定方法・デー タ把握方法を記 入 (モニタリング方 法ガイドラインに あるパターンか ら選択)	事業者自ら実測を行う 場合、具体的な測定方 法を記入 (記入された測定方法 により、第三者が同じ 調査を実施できるよう 詳細情報を記入のこと)	測定頻 度を記入	モニタリング方 法ガイドラインを 参照し、測定機 器のキャリブレ ーションを行っ たかチェックし、 チェックした日付 を記入	吸収量の算 定に使用した データを記入	地位決定の根拠とな ったデータに関して 記述
1	〇〇小班 XX	地位級	対象森林 の土地条 件等の階 層	モニタリング方 法ガイドラインに 基づき、実測す る	超音波樹高測定器(具 体的な名称、モデル等 を記述)を用いて実測す る	モニタ リング 時に1回	2009/10/31 実施	3	資料 XX 樹高特定調 査野帳

D.1.3 使用したパラメータの記述

モニタリングポイント No.	小班名	パラメータ		測定方法 (モニタリングパ ターン)	測定方法の詳細	測定頻 度	測定機器 の確認	計測値	対応する原始記 録・文献等
モニタリングポイントの 番号 (間伐等の森林施業を 実施したサイトの通し 番号)を記入	モニタリングポイン トの番号に対応す る小班名を記入 (同一小班名は識 別可能な方法で記 述)	方法論に 記載されて いるパラメ ータを記入	パラメータ の説明	測定方法・データ 把握方法を記入 (モニタリング方法 ガイドラインにある パターンから選択)	事業者自ら実測を行 う場合、具体的な測 定方法を記入 (記入された測定方 法により、第三者が 同じ調査を実施でき るよう詳細情報を記 入のこと)	測定頻 度を記入	モニタリング方 法ガイドラインを 参照し、測定機 器のキャリブレ ーションを行っ たかチェックし、 チェックした日付 を記入	吸収量の算 定に使用した データを記入	パラメータの値を決 定する根拠となった データに関して記述
1	〇〇小班 XX	BEF	拡大係数	「京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF 活動の補 足情報に関する報 告書」から対応す る樹種の値を使用	実測しない	モニタ リング時に 1回確認	該当しない	XX	「京都議定書3条3 及び4の下での LULUCF 活動の補足 情報に関する報告 書」

D.2 モニタリングされたパラメータに基づく吸収量の計算

D.2.1 吸収量の計算に使用した式

計算式:
(計算式及び計算式を使用して得られた総吸収量を具体的な数値を代入して記述)

D.2.2 吸収量の計算

モニタリングポイント No	小班名	樹種	a. 面積 (ha)	b. 拡大係数	c. R 率	d. 容積密度	e. 炭素係数	f. 収穫予想表 (m ³ /ha/年)	吸収量 (tCO ₂ /年)
モニタリングポイントの番号 (間伐等の森林施業を実施したサイトの通し番号)を記入	モニタリングポイントの番号に対応する小班名を記入(同一小班名は識別可能な方法で記述)	植栽されている樹種名を記入	申請対象となる小班の面積を記入	方法論に記載されている対象樹種の拡大係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	方法論に記載されている対象樹種の拡大係数を記入	モニタリング方法ガイドラインに記載されている面積の不確実性を記入	方法論に記載されている対象樹種の拡大係数を記入	対象地の吸収量を記入 =(a * b * d * e * f * 44/12 * (1 + c))
1	〇〇小班 XX	スギ	10	1.57	0.25	0.314	0.5	10	113

D.3 不確実性の計算結果

(モニタリングプランの計算表を用いて、今回の申請対象となった箇所の不確実性評価を行い、その結果を以下に添付する)

モニタリング	小班名	樹種	a. 面積		b. 拡大係数		c. R率		d. 容積密度		e. 炭素係数		f. 収穫予想表	
			値 (ha)	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値	不確実性	値 (m3/年)	不確実性
モニタリング ポイントの番号 (間伐等の 森林施業を 実施したサイト の通し番号)を記入	モニタリング ポイントの番号 に対応する 小班名を 記入(同一 小班名は識別 可能な方法 で記述)	植栽され ている樹 種名を記入	申請対象となる 小班の面積 を記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている 面積の不確実性を 記入	方法論に記載 されている対象樹種 の拡大係数を記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている 面積の不確実性を 記入	方法論に記載 されている対象樹種 の拡大係数を記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている 面積の不確実性を 記入	方法論に記載 されている対象樹種 の拡大係数を記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている 面積の不確実性を 記入	方法論に記載 されている対象樹種 の拡大係数を記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている 面積の不確実性を 記入	各都道府県に おいて使用され る収穫予想表から 適切なものを選定し 記入	モニタリング 方法ガイドライン に記載されている 面積の不確実性を 記入
1	〇〇小班X	その他	27.20	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
2	〇〇小班X	その他	21.72	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
3	〇〇小班X	その他	1.68	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
4	〇〇小班X	その他	4.80	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
5	〇〇小班X	その他	1.00	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
6	〇〇小班X	その他	0.36	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
7	〇〇小班X	その他	2.56	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
8	〇〇小班X	その他	2.20	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
9	〇〇小班X	その他	24.68	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
10	〇〇小班X	その他	12.72	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
11	〇〇小班X	その他	54.56	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
12	〇〇小班X	その他	5.16	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
13	〇〇小班X	その他	5.04	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
14	〇〇小班X	その他	3.48	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
15	〇〇小班X	その他	20.00	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
16	〇〇小班X	その他	4.04	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
17	〇〇小班X	その他	1.92	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
18	〇〇小班X	その他	29.82	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
19	〇〇小班X	その他	0.08	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
20	〇〇小班X	その他	2.76	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
21	〇〇小班X	その他	0.08	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
22	〇〇小班X	その他	4.76	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
23	〇〇小班X	その他	2.24	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
24	〇〇小班X	その他	1.32	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
25	〇〇小班X	その他	2.68	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
26	〇〇小班X	その他	3.96	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
27	〇〇小班X	その他	0.20	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%
28	〇〇小班X	その他	2.04	10%	1.15	24.7%	0.29	21.8%	0.404	8.8%	0.5	2.0%	10	30.0%

E:モニタリングの実施体制及び品質保証・品質管理	
E.1 モニタリングの実施体制	(モニタリングの実施体制について、モニタリングのステップ毎の流れと各ステップの内容、ステップ毎の責任者とその権限について図等を用いて記述(申請時のモニタリングプラント同じ場合も再度記述)。)
E.2 品質保証(QA)及び品質管理(QC)	<p>(森林管理方法(定期的な林況チェック等)、施業効率の改善(教育・訓練)、機器の点検、及び成長量に関するデータ管理の仕組みや手順(QA 及び QC)について、モニタリング方法ガイドラインに基づき、以下に記載)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育・訓練の実施状況と記録 ・ 情報の保管 ・ データの確認 ・ 内部監査 ・ 測定機器の維持・管理(機器校正等)
E.3 その他	

附属資料

資料 XX ○○小班 XX 間伐面積測量結果

(面積の測量結果を実測図やそれに基づく面積の算定結果、精度等を記述。プロットの位置がわかるように地図上に明記。間伐対象となった箇所の全体図も併せて添付すること。)

資料 XX 樹高特定調査野帳 (例)

特定された地位： X

プロットポイント No	1	モニタリング実 施日	200X年X月X日
対象小班	〇〇小班	プロット面積	20m×20m=400m ²
樹種	スギ	モニタリング担 当者	〇〇〇
林齢	XX年生	緯度	NO〇
平均樹高	XX m	経度	E△△
番号	樹高	胸高直径	備考
1	21 m	20 cm	

(上記プロットに対応する写真をモニタリング方法ガイドラインに記述されているプロジ
ェクト対象森林の写真撮影に基づき3枚撮影し、添付すること)

資料 XX その他

・伐採届け

(既に届出済みのものは伐採届けを添付する)

・吸収量・不確実性の計算シート

(エクセルファイルを別途検証機関に提出すること)